

今週（10月7日から10月11日）の短期金融市場動向

●インターバンク市場

今週の無担保コールO/N物は、引き続き資金調達ニーズの強い状況に変わりはなく、相場に大きな変化は見られなかった。無担保コールO/N物の加重平均レートは、7日(月)から10日（木）まで0.227%で変わらず推移し、11日(金)も概ね横ばい圏での取引となった。
ターム物に関しては、1W～4Mまでの幅広い期間で出合いが散見された。

日銀当座預金残高は、週初540兆円程度で始まり、8日(火)に国債買入により541兆円台に増加したものの、その後は9日(水)の30年債発行、11日(金)の5年債発行を受けて減少した結果、538兆円台での着地見込みとなった。

●レポ市場

今週のGC O/N物は0.18～0.255%近辺で推移した。
SC取引の個別銘柄では、2Y441～465回、5Y151～173回、10Y356～376回、20Y180～189回、30Y65～83回、40Y13～17回などで引き合いが多く見られた。

●短国市場

今週の短国市場は、閑散な中、レート水準は概ね横ばい圏での推移となった。
9日(水)に行われた6M物入札は、事前予想に比べ甘く、テールが流れる結果となった。結果発表後のセカンダリーマーケットでも、最高利回り近辺の水準で推移する展開となった。11日(金)に行われた3M物入札は、引き続き強い水準での決着となった。結果発表後のセカンダリーマーケットでは、閑散で特段の出合いは見られなかった。

●CP市場

今週のCP市場は、小売業、卸売業、建設業など複数の業態が大型発行を行い、市場残高は23兆円台後半で推移した。発行レートは、0.25%以上での推移となったものの、銘柄や期間により、投資家の運用目線にばらつきがみられた。

●短期金融市場関連指標

	日経平均（円）	新発10年物 国債利回り（％）	為替 （ドル/円中心相場）	無担保コールO/N （加重平均・％）	東京レポレート(翌日 物・T+1スタート・％)	日銀当座預金残高 （億円）
10/7（月）	39,332.74	0.920	148.46	0.227	0.233	5,403,200
10/8（火）	38,937.54	0.920	147.84	0.227	0.188	5,411,300
10/9（水）	39,277.96	0.930	148.20	0.227	0.230	5,406,700
10/10（木）	39,380.89	0.955	149.28	0.227	0.239	5,408,900
10/11（金）	39,605.80	0.945	148.65	0.227	0.245	5,381,300

来週（10月15日から10月18日）の短期金融市場動向

●経済カレンダー

	国内主要経済指標	国債等入札予定			海外主要経済指標
10/14 (月)	スポーツの日				New York祝日(Columbus Day)
10/15 (火)		流動性供給 6,500億円 10/16発行			
10/16 (水)	香川県金融経済懇談会において安達日銀審議委員講演 8月の機械受注統計(内閣府 8:50)	交付税借入 13,000億円 10/24借入			9月の英消費者物価指数
10/17 (木)	9月の貿易統計(財務省 8:50) 8月の第3次産業活動指数(経済産業省 13:30) 8月の石油等消費動態統計(経済産業省 13:30)	TB1Y 32,000億円 10/21発行	流動性供給 4,000億円 10/18発行		ECB定例理事会 9月の米小売売上高 9月の米鉱工業生産・設備稼働率 8月の米企業在庫 9月のユーロ圏消費者物価指数改定値
10/18 (金)	9月の全国消費者物価指数(CPI 総務省 8:30)	TB3M 43,000億円 10/21発行			9月の米住宅着工件数

●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
10/14 (月)	スポーツの日								
10/15 (火)	▲ 200	89,500	89,300	国債買入 CP買入 国債補完	▲ 200 9,200	8,500	17,500	106,800	源泉税揚げ、年金定時払い TB3M発行△43,000 償還52,000 個人向け3・5・10Y発行△3,800 個人向け3・5・10Y償還1,100
10/16 (水)	500	▲ 6,500	▲ 6,000	全店共通	▲ 8,000		▲ 8,000	▲ 14,000	流動性供給発行△6,500
10/17 (木)	▲ 500	1,000	500				0	500	交付税借入 △13,000 期日13,000
10/18 (金)	▲ 500	▲ 4,000	▲ 4,500				0	▲ 4,500	流動性供給発行△4,000
週 間 合 計	▲ 700	80,000	79,300	—	1,000	8,500	9,500	88,800	

10/15は日銀予想、10/16以降は当社予想

●短期金融市場の見通し

無担保コールO/N物は、状況に大きな変化はないと思われ、引き続き0.22～0.228%程度の水準で推移する事が見込まれる。債券レポGC T/N物のレート水準は、参加者のスタンスに大きな変化がなければ、0.23～0.25%程度の水準で推移することが見込まれる。短国市場は、17日(木)に1Y物、18日(金)に3M物の入札実施が予定されている。CP市場は、16日(水)に五・十日の前倒し発行が予定されており、足切り水準の変化等、動向が注目される。

主要なイベントは、国内では16日(水)に8月の機械受注統計、17日(木)に9月の貿易統計、18日(金)に9月の全国消費者物価指数(CPI)、海外では、16日(水)に9月の英消費者物価指数、17日(木)にECB定例理事会、9月の米小売売上高などが予定されている。

- ◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- ◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
- ◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。

セントラル短資株式会社 登録金融機関関東財務局長（登金）第526号 日本証券協会加入